

みんな大好き！ニコニコ家族

道路脇には、まだちよっぴり雪が残っているけど、暖かい陽ざしが降りそそぐ昼下がり。お散歩の大好きなバル君は、今日も十和田の街を散策です。おやあ、中央公園のベンチにお友達が集まっていますよ。



バル君

愛ちゃん ねえみんな、ままごとしようよ。

わたし、お母さん。

カイ君 じゃ、ぼくはお父さん。

なみちゃん えーするい。なみもママ役やりたい！

愛ちゃん じゃ、なみちゃんは隣のおうちのママ役にしよう。

幸ちゃん

わたしは、カイ君と愛ちゃんのごも。

太郎君

それじゃ僕はなみと一緒にパパ役。あつバル君、いいところへ来た。バル君は僕たちの子どもになってよ。

バル君

ままごとがあ、なつかしいなあ。やろっ、やろっ。

愛ちゃん

じゃ、お隣におしたよ。えっ、朝ご飯からやるよ。

一同

お〜！

…お隣の家族が誕生しました。どんな朝を過ごすつもりかっ。

バル君

えっ、自分でやるの？

なみママ

自分で何でもできなくちゃダメよ。今は男の子も、女の子もないのよ。

バル君

ふあ〜い。

幸ちゃん

お母さん、幸、お片付け手伝うよ。

愛ちゃん

あらあ、ありがとう。

なみママ

バル、ママもう行かなきゃ。お皿とコップを食器洗い器に入れておいてちょうだいね。

バル君

はあ〜い。

なみママ

それから、今日は帰りが遅くなるから、パパと冷蔵庫のおかずを手ンして食べてね。あと、お米も研いでちょうだいね。

バル君

うん、わかった。

なみママ

それから、お父さんに洗濯物をたんでねって言うてね。じゃ、行ってくるね。

愛ちゃん

うん、言っと〜。いつてらっしやい。

なみちゃん

…お隣が気になって仕方ない愛ちゃん、とっとう井井とこをきまっしやいませ。

愛ちゃん

ねえ、なみちゃん。全然お母さんみたいじゃないよ。ダメママになっちゃおうよ。

なみちゃん

いいんだよ。なみのママもお仕事してるけど、みんな協力して仕事を分担してるんだ。

太郎君

うちのお母さんは仕事して遅くはないよ。ちゃんとこ

愛ママ

あ〜もうこんな時間。起きなくっちゃ。ご飯にみそ汁、おかずも作るから大変なのね。あ〜忙しい。

なみママ

ふあ〜、よく寝た。さてと、コーヒーをセットしたら、シャワーでも浴びましょっか。

愛ママ

えっ、ご飯の準備しないの？

なみママ

いいの！うちのパパ、ママはお仕事に行くから朝ご飯は簡単でいいんだっていつてくれるの。着替えて、お化粧もしなきゃならぬいから、パンとコーヒーでいいよって。

愛ママ

え〜、そんなんでいいの？

カイババ

おはよう。いい匂いだね。今日は鮭の塩焼きに卵焼き、

愛ママ

ワカメのみそ汁か。おいしそうだね。

太郎ババ

ママ、おはよう。今日は朝ご飯いらぬいよ。

なみママ

昨日飲み過ぎで頭がガンガンだよ。

愛ママ

あらあ大変ね。

なみママ

飲み過ぎにはシジミのみそ汁がいんだよ。



太郎ババ

いいさ。もつそんなに時間ないしね。じゃ、いつてきます。

なみママ

あつ、ちよっと待って。

愛ママ

今日は、ゴミの日だから、この袋も持っていつてちょうだい。

太郎ババ

はい、はい。

愛ママ

え〜、お父さんにゴミも出させるの？

太郎ババ

いいですよ。うちは共稼ぎだから、お互いに協力していかないと。

愛ママ

ねえあなた、お隣の奥さん、全然主婦してないのよ。ご飯の準備もしないし、ご主人には、ゴミを出させるし。

カイババ

いいじゃないか。隣は隣だよ。僕は、お母さんのおいしい料理が食べられるだけで幸せさ。

幸ちゃん

お父さん、お母さん、おはよう。

愛ママ

さあ、みんなそろったわね。朝ご飯食べるわよ。いただきます。

バル君

お隣はご飯食べてるけど、僕は何を食べたらいいの？

なみママ

トースターでパンを焼いて、牛乳をレンジで温めて飲みませい。

一同

お父さんとお母さんのこと好き〜。だあ〜い好き！

みんなのニコニコ笑顔をみて、ますます温かい気持ちになったバル君。ほんわか空気に、サクラのつぼみがちよっぴりほころんだように思えたのは、バル君だけかな？

さて、いかがでしたか？ままごとでは、二通りの夫婦が登場しましたが、共通していることがありましたね。

1. おくいを認めあっている。
2. なまものの言葉、感謝の言葉が素直に伝わる。
3. みんなの笑顔を大事にしている。

そして、何より子供達はお父さんとお母さんが仲良しだったことが一番なんです。そんなパパママが大好きなんです。そんなパパママになりたいと思います。

尊敬する人は？などと聞かれたとき、両親です。なんて言われたら感動ですよ。

ゆっバルから、ちよっぴり小粋なエッセンス…

子どもは見てるなあと思います。親を通して学習し、親の言動を良くも悪くもお手本にして、素直な目で見て評価しているのです。家庭のただでなく、地域社会、職場で自分を活かす両親を子どもは誇りに思っただけです。

